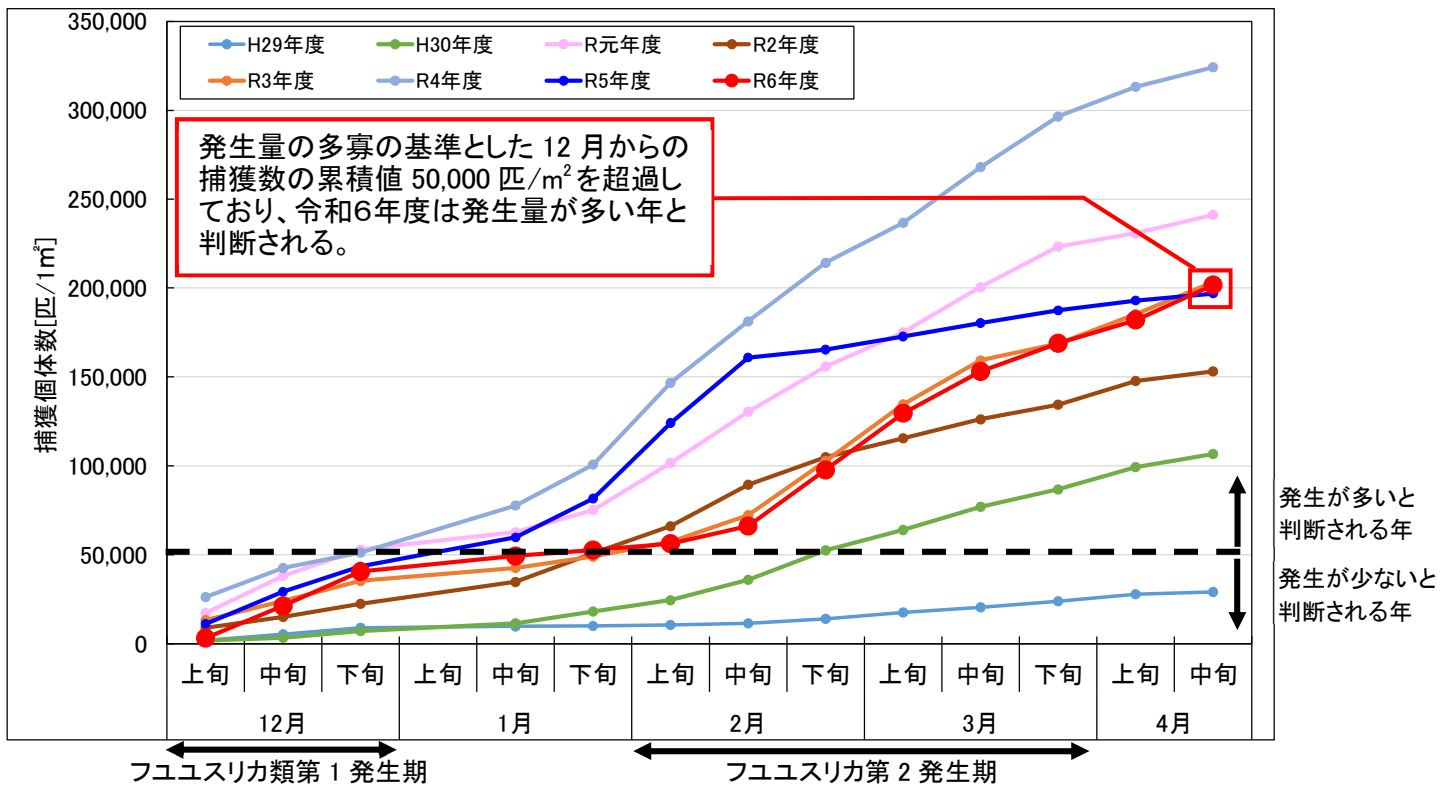
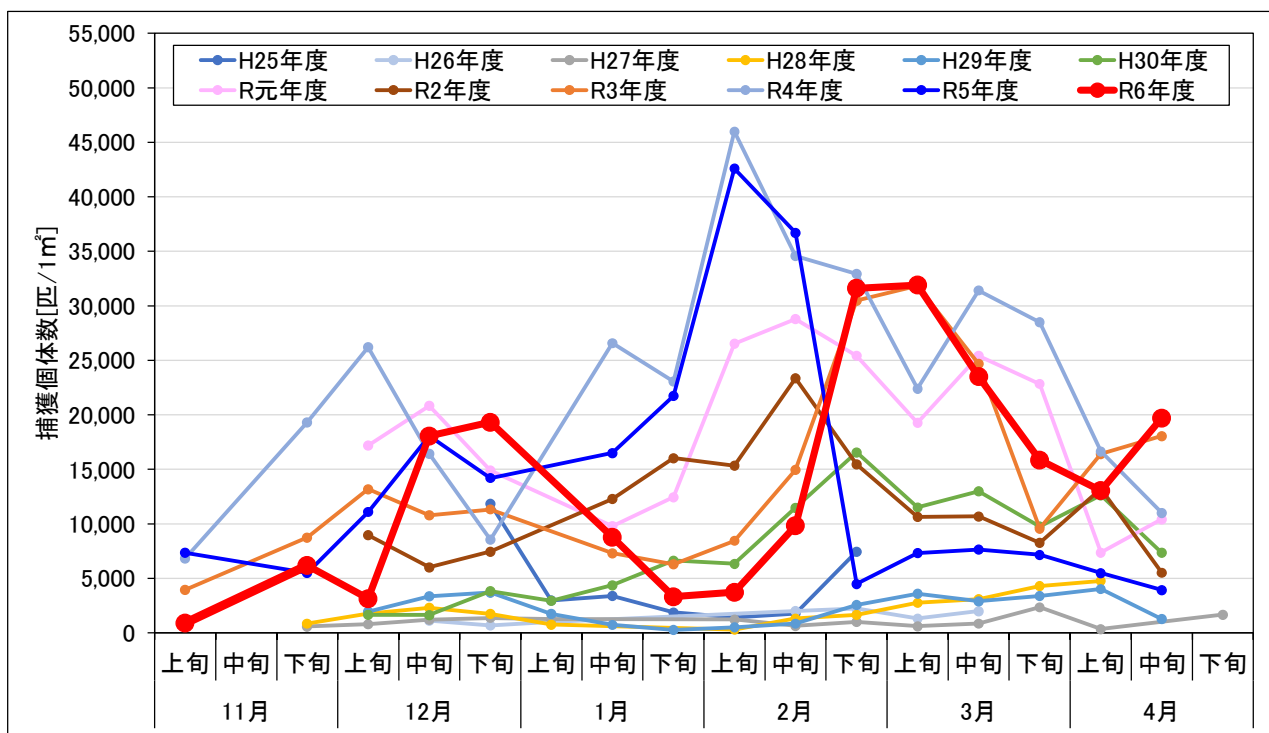


(1) 令和 6 年度の発生状況

令和 6 年度のユスリカ類の発生量累積値は、平成 29 年度以降で、令和 4 年度、令和元年度に次いで多い結果でした。



捕獲個体数累積値の経年比較



各年度における捕獲数の季節推移

※国土交通省木曽川上流河川事務所実施の縦断方向粘着トラップ調査結果から作成した。H25～R6 年度の共通調査地点のデータを使用した。

※共通調査地点：木曽川左岸水際の 27.5kp～38.0kp の 12 地点。

※調査方法：1 地点あたり 1,200cm² の粘着シートを 1 回あたり約 10 日間設置し、捕獲されたユスリカ類を計数。